



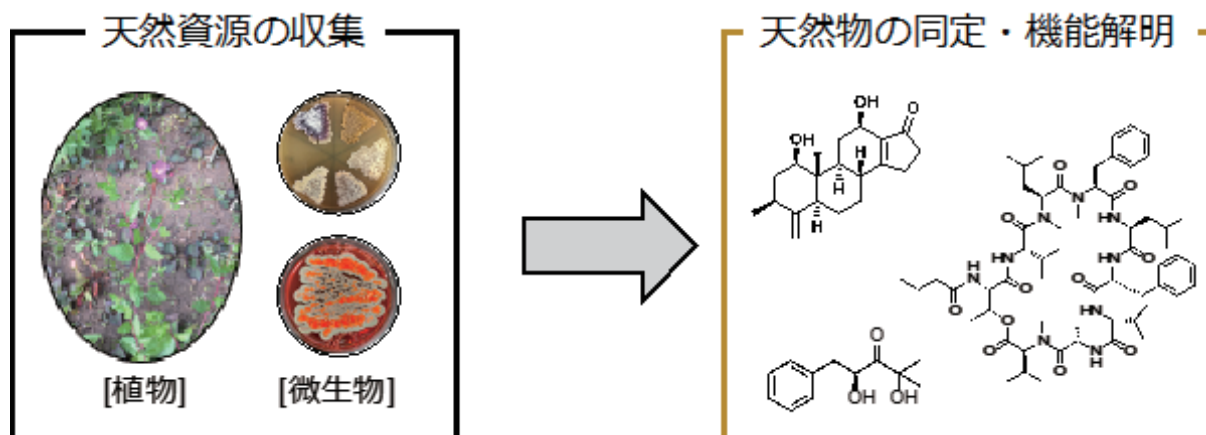
植物や微生物からの天然物探索

農学部 応用生物科学科 助教 原 康雅

研究シーズの概要

古くから人類は植物等の天然資源を生薬として利用し、健康維持に役立ててきました。これら天然資源の一つ一つに、多くの天然有機化合物（天然物）が含まれています。天然物は、その構造多様性に起因する多彩な生物活性を有しており、医薬品や医薬シーズ、サプリメント等の食品、あるいは化粧品等として利用されるなど、幅広く生活に密接しています。

当研究室では、天然資源から、新しい骨格を有する天然物や生物活性を有する天然物を探索し、その機能を明らかにする研究を進めています。そのため、熱帯地方の植物や、香川県内を含めた国内の植物・未利用天然資源、国内の土壌由来微生物などの天然資源を収集・保管しています。また、それら天然資源を利用して、がんや関節リウマチ、感染症等の疾患を標的とした生物活性試験などを実施し、医薬シーズに繋がるような天然物等の探索に取り組んでいます。



【利用が見込まれる分野】 医薬品、食品、化粧品

研究者プロフィール

原 康雅 / ハラ ヤスマサ



メールアドレス hara.yasumasa@kagawa-u.ac.jp
 所属学部等 農学部 応用生物科学科
 職位 助教
 学位 博士（薬科学）
 研究キーワード 天然物化学、生物活性天然物

問い合わせ番号：AG-23-001

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで
 直通電話番号：087-832-1672 メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp